



# 神戸元町ちどいだよい

平成30年2月 第23号

## 神戸元町ちどい保育園

まだ寒さの厳しい日が続いていますが、園庭ではチューリップの芽がひっそりと顔を出し、春の訪れはもうすぐそこに来ています。子どもたちは相変わらず元気いっぱい、にぎやかに過ごしています。

今月は幼児クラスの生活発表会があります。緊張したり、はしゃいだり、アイデアを出したり、教え合ったりとそれぞれの表情で取り組んでいます。歌を見ている方に届けるように歌うには？表現している自分たちは楽しいけれど、見ているお客様はどう思うかな？職員からの少し難しい問いかけにも、応えようと考えたり工夫したりしています。さて、当日は…どうぞお楽しみに。

先日は保護者会に多数ご参加いただきありがとうございました。山口育子先生の講演会では、アドラー心理学に基づく「楽育ママの子育て～勇気づけのすすめ～」というテーマで、子どもが育ってほしい姿（目標）を描きながら、どんなふうに言葉をかけ、関わっていけば良いか、とても分かりやすくお話いただきました。ロールプレイで子ども役をしてみると、幼少期を思い出すこともあり、より子どもの気持ちに近くなれた気がしました。私自身、子育てを振り返りながら耳が痛い部分もあり、でも「言って（やって）しまったのは過去のこと！」と、今を起点にプラスの方向に進むようにすれば良いというお言葉に、肩の力がすっと抜けて、切り替えの大切さを学びました。大人にも子どもにも「ありがとう・うれしいわ・だいすき・たすかるわ」心を入れてこの言葉を伝えたいと思います。夜には今日あった出来事は一旦クリアして、みんなしあわせに眠りにつき、明日の朝を迎えましょう。

新村 久美子

みなさんは積み木の遊び方が何通りもあるということをご存知でしょうか。保育園には様々な色、形の違う種類の積み木がおいてあります。乳児クラスは保育士と一緒に高く積み、壊すを繰り返したり、倒れないようにそっと並べてドミノをしたりして楽しむ姿が見られます。幼児クラスは友だちと協力し、様々な形の積み木を組み合わせながら積み重ねていき、タワーやお城、船、ビルなど大きな作品を作っています。



積み木遊びにはバランス感覚を養い、表現力や集中力を育む効果があります。組み立てるのが簡単なブロックに対し、積み木は少しのずれで崩れたり壊れたりします。その感覚を体験することで「物」や「人」に対して微妙な力加減ができるようになり、精神力、筋力が養われます。また、倒れないようにしようとするので自然と指先の運動にもなります。



幼児クラスでは保育室に積み木コーナーを作るなど、子どもたちの表現の世界が広がるように、集中して遊びこめる空間を確保しています。積み木遊びを通して子どもたちに、空間性、秩序性、社会性を少しずつ学んで欲しいと思っています。ぜひ保育室にある積み木で、子どもたちがどんな遊び方をしているのか少し覗いてみてください。

波田野 亜沙美

### 2月の予定

節分	2日(金)	避難訓練	5日(月)・15日(木) …火災・水害2回実施
誕生会	9日(金)	体育遊び	6日(火)・21日(水)
生活発表会	(きりん・そう・うさぎグループ) 17日(土)		
発育測定	23日(金)～27日(火)		





## あさひぐみ

冬の自然を少しでも身近に感じられるよう、みんなで氷作りに挑戦！！気温が低い日に、おままごとのお皿に水を入れて外に置きました。「明日になったら凍ってるかな？」と期待して次の日を待ちましたが、1回目・2回目はうまくできず…。3回目ですぐに成功しました！できた氷を興味津々に触り、冷たそうにしながらも喜ぶ表情が見られました。今月も寒い日にチャレンジしてみたいと思います。

最近、友だちの存在を意識し、一緒に遊んだりやりとりしたりすることが増えました。戸外遊びに行くときに誰かが来ていないと「おいで～」と呼びに行ったり、欲しい玩具が使えなくて泣いていると、そっと貸したりしています。

戸外遊びから帰ってきた後は、手洗いを丁寧にやりました。「手を洗うよ」と言うと、自ら腕まくりをする子どももあり、手洗いの手順が少しずつ分かるようになっていきます。感染症が流行しやすい時期なので、引き続き念入りにしていきたいと思います。

今月は、パズルや絵合わせなど、机上で遊びを充実させる予定です。室温や湿度に十分気を配り、健康的に過ごせるようにします。

岡崎 七重



## ひかりぐみ



先月は、屋上や一階の園庭でかけっこやしっぽ取り、凧揚げをして遊びました。しっぽを取る、取られないように逃げるといったルールを伝え、布をズボンにはさんで「先生のしっぽ、取ってねー！」と走ると、「なにそれ～」と笑ったり「〇〇ちゃんもちょうだいいー」と言ったりしながら追いかけていました。凧揚げではしっかりと凧を手に持ち、「みてみて！」と友だちと並んで走り、ふわっと上がる凧を見ては笑顔いっぱいのひかりさんでした。この頃、同じ遊びを楽しんだり、「これは〇〇だね」と話したり友だちと積極的に関わるようになっていきます。時には、泣いている子どもに「大丈夫？」「よしよし」と声を掛けてギュッと抱きしめる優しい姿も。今月も寒い日が続きますが、サーキット遊びや園庭などでたくさん体を動かす中で、友だちと遊ぶ楽しさを感じられる様なむっくりくまさんやしっぽ取りなどの遊びを取り入れていきます。

先月より、食事前の手洗い後に自分のタオルで手を拭いています。自分のマークのタオルを手に「〇〇ちゃんのあったよー」と嬉しそうに保育士に知らせ、喜んでいる子どもたち。両手に石鹸をつけてこすり合わせる、しっかりと水で流すなど、手洗いの仕方を丁寧に伝えて援助していき、感染症の予防に努めていきます。

島袋 愛



## にじぐみ

寒い日が続いていますが、子どもたちの元気な声を聞くと、ぽかぽかと心温かくなります。先月はカルタや福笑いなどお正月遊びをたくさん行いました。「どこやる？」「面白いお顔になったね」「一緒やね～」簡単なルールを理解して友だちと笑い合いながら楽しむ姿が見られました。絵合わせゲームでは、絵が揃うと「やった～」と喜び、違うと「もう一回！次は負けないぞ！！」どうしたら勝てるか考える真剣な賀表情がとても可愛いです。生活面では、おやつ後に虫歯予防のうがいを行っています。初めはお水を飲みこんでしまうこともありましたが、保育士に見守られながら何度も繰り返していくうちに上手に出来るようになってきました。今後は、うがいの回数を増やし、風邪予防のガラガラうがいもしていく予定です。

今月も寒さに負けず、子どもたちの体調や室内外の温度差に気を付けながら、戸外でもお部屋でも十分に身体を動かせるよう配慮します。また、来年度に向けての移行保育が始まります。子どもたちが安心して過ごせるよう、一人ひとりの気持ちに寄り添い、進級への期待が持てるように努めていきます。

萩本 まりか

## うさぎグループ

先月は、新年を迎え初詣、とんど焼き、書初めなどを経験して、昔ながらの伝承行事をする意味、受け継がれる大切さを知る機会を持ちました。また、コマ回しなどのお正月遊びにも誘いかけると、紐の巻き方、投げ方などを子ども同士で教え合う姿が見られました。ラキューで手回しコマを作ったり、玩具を利用して回すことを考えたり…。遊びが広がる様子を見て、子どもの豊かな発想に驚くと共に、その姿を大切に育てていきたいと思っています。

今月は引き続き、絵本を通じてのお話し遊びを異年齢で工夫して進めていきます。役になりきった台詞や動き方などアイデアを出し合い、一人ひとりが楽しんで取り組み、満足して遊び込めるよう、個々に合わせた援助に努めます。

感染症予防、強い体作りのために生活リズムを整え、何のために手洗いやうがいをするのかをしっかりと理解して励行出来るよう関わります。また、昼食によく出る玉葱・人参・ジャガイモなど病気にかかりにくい食べ物があることなどを話し、病気と食べ物の関係性にも関心を持つような食育を行います。また、育てた野菜を食べることから「いただく命」に気づき、感謝の気持ちを持てるようにしたいと思っています。 黒田 博子

## きりんグループ

先月は、湊川神社へ初詣やとんど焼きに行ったり、コマやカルタなどのお正月遊びをしたりと伝統文化に触れて楽しみました。なかでもきりんグループはコマに大苦戦。「お茶碗だと思ってまっすぐに持って…」「投げたらすぐひっばる！」保育士やお友だちに教わったコツを呪文のように唱えながら、「回った！！」の瞬間のために何度も何度も挑戦する根気強い姿が見られました。

生活の中で、次の学年になることを少しずつ意識してきた子どもたち。「次ゆめ組やから、お野菜も全部食べるねんで」「今日は最後までお箸で食べてみる」と、食事の時に保育士や友だちと言葉のやり取りをしています。みんなで高め合える関係が出来ていることを嬉しく感じ、必要な時には言葉を添えて見守っていきたいと思います。

今月は生活発表会があります。普段の遊んでいる様子を保護者の皆様に見ただけのように、表現遊びを工夫して楽しみたいと考えています。引き続き風邪や感染症の予防法について子どもと確認し、意識してガラガラうがいや石鹸を使った手洗いが出来るようにします。 山下 奈緒美

## そうグループ

湊川神社へ初詣に行き、手を清めたり参拝をしたりするのを経験しました。また、年賀状ごっこ、カルタなどをしたり、けん玉を作ったりと、正月遊びの面白さを伝えました。子どもたちは、夢中になり友だちを誘って遊ぶ姿が多く見られるので引き続き楽しんでいきたいと思っています。年賀状ごっこでは、「〇〇ちゃん、〇〇くんからもらったの」と嬉しそうにしている「お返事かく」と張り切っていました。

生活面では、脱いだ衣服を畳んだ後、友だちに見せ合って自分たちで確認を行っています。トイレでは、スリッパを次使う友だちのために揃えて脱ぐことや、気付いたら並べることなどもみんなが意識をしていることを感じます。今後は、生活面の再確認を行い、次学年へと期待が持てるようにしていきます。

今月は、絵本を元に表現遊びなどを取り入れ、音楽に合わせて歌ったり全身を使って表現したりして楽しく遊んでいきます。また、室内はこまめに換気を行い気持ちの良い環境で過ごせるよう配慮します。 大崎 鮎